

市丸小だより

令和5年6月6日(火)市丸小学校 No.5

144年のよき伝統の継承と笑顔あふれる学校へ

家庭数配布 文責 校長 本庄 裕子

全校で田植え体験

今年も全校で田植えを行いました。1年生は6年生と一緒に植えました。低学年の児童は、上級生に植え方を教えてもらいながら、丁寧に植えていました。



上級生は、慣れた手つきで、次々に植えていました。

地域の渡邊様に、苗のことや植え方について教えていただきました。

これまではもち米でしたが、今年のご飯のお米を作ります。田植えが例年より早くなり、収穫時期も9月です。米作りは、稲刈りを行うまで、水の管理や肥料や虫の駆除など、様々な世話が必要です。米作りの過程を児童に伝え、米作りに関わる方々に感謝する気持ちを育てたいと思います。秋の収穫が楽しみです。



1. 2年生 新道寺小と交流 & 学校たんけん



新道寺小学校とは、東谷中校区の小学校として、長年交流を行っています。同じ中学校へいくため、同学年同士の交流です。今年の1回目の交流は、1, 2年生でした。自己紹介やじゃんけん列車をした後、運動会のダンスを両校で披露しました。昨年まで、コロナでできなかったじゃんけん列車を楽しそうに笑顔でしているのが印象的でした。

先週、学校たんけんを行いました。2年生が学校中を案内し、職員室や校長室、保健室や音楽室などの教室に入り、説明したり、先生方へ質問をしたりしました。次は、どこへ行こうかと相談し、調べた部屋にはスタンプを押していました。2年生が1年生をリードする姿に、成長を感じました。



「みどりの愛護のつどい」に参加しました。

6月3日(土)に第34回全国「みどりの愛護のつどい」が北九州市で開催されました。式典と植樹祭が行われ、本校とすがお小の6年生が代表で「誓いの言葉」を言いました。大勢の参加者を前に、大変立派に誓いの言葉を言うことができました。二人は、その後、秋篠宮ご夫妻から学校の取組などのお尋ねがあったようです。大変貴重な体験ができました。本校の取組もしっかり伝わったのではないかと思います。

6年生 すがお小と交流



すがお小の6年生が本校に来校しました。ガシャモクの様子や保全活動のことを本校の6年生が説明し、栽培用の水槽やミニお糸池を案内しました。

すがお小もSDGs推進校として、紫川の自然環境を守るために、放置竹林の減少に向けて竹パウダーの取組を行っています。2学期に両校の取組を交流する予定です。今回は、顔合わせを行い、交流への良いスタートとなりました。